

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員

池田まさよし 通信

発行：池田まさよし事務所

【第38号】

〒624-0853 舞鶴市南田辺71番地1 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 ホームページ <http://www.ikedakai.net>



京都府議会議員
池田正義

令和6年元日に発生しました能登半島沖地震におきましてお亡くなりなられました方々に哀悼の意を表します。被災されました全ての皆様にお見舞いを申し上げますとともに早期の復旧・復興をお祈りしています。

さて、令和6年度当初予算では、全ての営みの土台となる「安心」、子どもたちを育み、絆を守る「温もり」、希望や活力の源泉となる「ゆめ実現」、人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを柱とし予算編成となっています。

政府に対しても、2月8日に自民党議員団として「来年度当初予算の内示に向けた要望活動」を行い、主な重点要望として、「防災減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の予算配分、山陰近畿自動車道の早期全線開通、地域公共交通の確保・維持のための予算確保、舞鶴国際ふ頭第2バースの促進、「みなとオアシス」における浸水空間整備など府域の均衡ある発展に資する道路・河川等の整備について要望しています。

これからも、国、府、市連携のもと地域の発展のため引き続き頑張りますので、ご意見・ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

予算の概要

令和6年度
当初予算

9,950億3,100万円

令和5年度
2月補正予算

94億4,500万円

1. 全ての営みの土台となる「安心」

- ◆重度心身障害者の医療に係る経済的な負担を軽減 …… 1億1,300万円
- ◆看護補助者や介護・障害福祉職員の収入を引き上げ …… 14億1,900万円
- ◆物価高騰等の影響を受けて生活に困窮されている方々を支援 …… 8,500万円
- ◆今後の地震に対する備えとして、耐震化支援制度を緊急的に拡充 …… 3億800万円
- ◆あらゆる危機事象に対応する危機管理センターの本格稼働 …… 14億1,000万円
- ◆左京警察署の整備に向けた基本構想の策定 …… 400万円

3. 希望や活力の源泉となる「ゆめ実現」

- ◆地域の特色を生かし産業創造を行う拠点を府内全域で構築 …… 5億1,700万円
- ◆中小企業の生産性・付加価値向上に向けたAIやロボット等の導入を支援 …… 1億円
- ◆開園100周年を迎えた府立植物園で記念事業等を実施 …… 2億4,300万円
- ◆伝統文化・生活文化に根付く「文化の心」を次世代に継承 …… 1億1,100万円
- ◆大阪・関西万博に向けた機運醸成や府内誘客に向けた取組を推進 …… 4億5,300万円
- ◆持続可能な観光地域づくりを実現するための府域周遊の推進 …… 3億6,900万円

2. 子どもたちを育み、絆を守る「温もり」

- ◆「子育て=楽しい」と思えるポジティブなイメージを拡大する交流機会の創出等 …… 600万円
- ◆「まち全体で子どもを見守り支える」まちづくりを進める市町村を支援 …… 6,500万円
- ◆私立高等学校あんしん修学支援制度の拡充 …… 34億2,600万円
- ◆総合相談窓口の設置など、求職者・企業のニーズに即した支援機能を強化 …… 2億8,000万円
- ◆各業界の実態に合った人手不足への対応及び高度人材の育成を支援 …… 2億9,100万円
- ◆省エネ性能を有するエアコン・冷蔵庫の買替え支援など、家庭や事業者の脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた取組を推進 …… 5億7,800万円

4. 人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

- ◆道路整備等の公共事業 …… 598億5,600万円
- ◆持続可能な地域交通の確保に向けた取組を支援 …… 20億3,600万円



●京都府議会 海上保安議員連盟 設立

海上における安全確保、海洋環境保全、治安維持、海洋権益の確保、救難体制及び防災体制の確立等の課題への取組を推進するため、海上保安体制の充実強化及び海上保安業務を担う人材育成を支援し、さらには府民の理解を促進することを目的に設立しました。

設立総会には、大変お忙しいなか、筒井第八管区海上保安本部長、川上海上保安学校長、千田舞鶴海上保安部長などにご来賓賜り、ご挨拶や、我が国における海上保安体制について講演を頂戴し、盛会裏に終わりました。



令和5年12月15日 海上保安議連設立総会



海上保安学校視察

令和6年度 2月定例会予算特別委員会（当初予算審査の概要）

国道27号西舞鶴道路と白鳥トンネルについて

【質問】 港の発展に欠かせない国道27号西舞鶴道路について、現在、橋桁等ができているが、進捗状況はどうか。



国道27号西舞鶴道路



新白鳥トンネル

【答 弁】 国の直轄事業として全体の事業費は400億円です。事業費ベースで47%、用地取得96%、埋蔵文化財の調査も全部終わっています。

【質問】 次に、小倉西舞鶴線白鳥トンネルの4車線化について、現在の進捗状況はどうか。また、現在のトンネルは歩道がないので安心・安全の面から令和6年度予算で新しいトンネルを通れるようにし、それから古いトンネルを改修していくようにすべきと考えるがどうか。

【答 弁】 白鳥トンネルは昨年5月に貫通し、本体工事は昨年の秋に完成しました。トンネルの舗装工事や取り付け道路の法面とか照明工事を出来るだけ早くします。様々な工事が、秋から冬までに設備・舗装工事、その後歩道整備を進めていきます。

京都府議会議員 池田まさよし通信<第38号>

原子力防災・避難道路について

【質問】 原子力防災避難道路について、これまでから整備をいただいているが、昨年の実績と今後の整備予定はどうか。

【答弁】 原子力防災避難道路については、令和5年度で8路線を府道で6路線、市道で2路線、2億3000万円程度、繰り越して1億3600万円の状況です。これが本年度の進捗状況です。電源立地地域対策交付金、緊急時安全対策交付金の二つの国の財源を活用し令和6年度は3億6500万円4市10路線を整備しようとしています。

ヘリポートの設置や危機管理センターとの連携について

【質問】 能登半島地震では、救助した約480人のうち6割の310人がヘリコプターなどの航空機で救出されたことが防衛省の集計でわかった。熊本地震では航空機で救出されたのは7%だった。道路の寸断により「陸の孤島」と化しており、ヘリによる救助の重要性が改めて浮き彫りになった。これまでの考えを見直し、舞鶴市の大浦半島にヘリポートの設置をしなければならないと考えるがどうか。



【答弁】 常設のヘリポート整備につきましては、以前から国との間で事業化に向けて要望活動を続けており整備条件が「離島での空路避難に限定」されておりましたが、今回の能登半島地震における道路寸断に伴い多数の孤立地域が発生したことを受け、改めて、国と協議を重ねており、来年度から、離島以外の沿岸や中山間地域でも事業化いただける道筋ができましたので、令和6年度に向けて、早急に関係市町と協議をすすめたいと考えています。

【質問】 舞鶴市には海上自衛隊航空基地、第八管区保安本部があり連携をしっかりとらないといけな。防災ヘリなどの映像による伝達は、新しくできた本庁の危機管理センターで見せていただいたが、ヘリとの映像の伝達がしっかりとできると救助の状況などが確実に本部で把握できる。映像の伝達はしっかりとできるのか。

【答弁】 ヘリの映像を直接防災センターに映し出すこと、その前提にはヘリ航空運用のオペレーションの中で映像を取り込むだけでなく、救助や対策等に活用するためのリアルタイムの映像を取り込むことが今回の防災センターの主眼です。

【質問】 自然災害の発生時、舞鶴市田井地区に放射線防護施設の原子力防災センターを設置いただいている。能登半島地震でも地域の皆さんが避難された原子力防災センターは、避難訓練を含めた地域の集まりとかに利用できるのか。

【答弁】 原子力の放射線防護施設、その中で唯一防護対策に特化した施設をつくりましたが、専用の施設なので一定のいわゆる公民館的な利用の仕方には国の制限を受けています。ただ、一般的な利用、避難訓練や防災訓練時に使う以外で地域の方が、万が一の時に暗がりの中でも来られるような施設、そのようなことが避難所の、もしくは放射線防護施設の在り方だと思いますので、そこは柔軟なやり方を舞鶴市と考えていきます。



放射線防護施設(田井原子力防災センター)にて

※田井原子力防災センター／放射線防護施設とは、原子力災害時、長距離避難が困難な要配慮者とその介助者が時的に避難する施設のこと。

農業・林業の人材確保・育成について

【質問】 府北部は、過疎化・高齢化による担い手不足の影響を受ける漁村・中山間地域が多く、今後も農林水産業が継続できるような人材確保・育成の取組が急務である。林業大学、農業大学の卒業生は、法人などに就業する割合が高く、北部に人材がとどまりにくい状況にあるが、北部への人材確保についてはどうか。

【答弁】 農大・林大の卒業生は、約8割が府内の農業・林業に従事、その中で3割から4割の方が北部に従事されるが、定着できるよう農業では、「担い手養成実践制度」を活用し、林業では、森林組合等に就職しノウハウを蓄積いただきます。

今後は、①新規就農をもっと増やし、定着率を上げる為には農大・林大卒業後に民間事業体、先進的なところとタッグを組んで技術や知識、十分な経営ノウハウを身につけて独立するような、インキュベーション機能を強化していきたい。

②農村・漁村を守る担い手という観点からは、最近移住者も多くなってきているので、農業なり林業に様々な形で関わっていただけるように考えています。

来年度に向け、人材確保育成の戦略をつくり、その中で事業体・市町村・大学などと人材育成のネットワークを形成し、就業相談から就業・定着までサポートしたいと考えます。

漁業の人材確保・育成について

【質問】 漁業に関わる担い手育成制度として「海の民学舎」の運営は将来の漁業リーダーの育成に繋がる重要な取組であるが、最近入舎生が減少しているが、その原因と対策、今後の取組はどうか。

【答弁】 「海の民学舎」は令和6年度で10周年を迎えます。ここ2年程、入舎生が2名と少なくなっています。コロナ禍ということもありPRが不足していたことと、漁業を知ってもらう入口の取組をしていった方がいいと考え、高校には直接就職担当の先生に伺い案内をさせていただきました。また昨年夏にインターンシップを2泊3日で開催し定置網を中心に京都府の漁業を体験してもらったところ、今度の10期生は11名入舎していただきます。

舞鶴地方卸売市場整備について

【質問】 京都府内で水揚げされる魚介類の8割が集積し、府内水産物の流通拠点となっている舞鶴地方卸売市場に関して、市場開設者である府漁協をはじめ、府の関係機関による協議の場が設けられ、機能向上の検討がされていると聞か、具体的な整備内容はどうか。また、それらの整備の実現に向けて、どのようなスケジュールで進めていくのか。

【答弁】 舞鶴市場の整備について、今、検討中ですが、高度衛生管理型へのリノベーションをしていきたいと思っています。今の舞鶴市場ですが、魚鳥ネットはあるものの鳥が入ってきやすい状態で衛生的にも問題があり、シャッター付けたら排気ガス対策・排水対策などを合わせてやっていくべきと考え、来年度、国費も活用しながら概略設計に取り掛かり令和7年度を目標にこの整備に着工したいと思っています。



舞鶴地方卸売市場

コンテナ物流について

【質問】 コロナ禍で落ち込んだ京都舞鶴港のコンテナ取扱量が回復しない中、新たに「京都舞鶴港コンテナ利用促進事業費」が提案され期待をしている。についてはどのような事業内容か、どのように輸送を行う事業者に働きかけるのか。また、国際フィーダー航路のコンテナ取扱量の推移はどうか。



京都舞鶴港

【答弁】 コンテナ取扱量は、前年度に比べ9%近く増加していますが、まだまだ以前の8割で、これが順調に回復するか物流会社関係に伺いながら、再度今回の案について阪神港を利用する企業に提案しています。具体的に幾つかトライアルをやりたいという企業や舞鶴港を利用したいという話もあります。しっかりと精査・ヒアリングをして対応していきます。

国際フィーダーについては、2年前に開設して、合計222個、昨年は615個で3倍近くになって順調に伸びています。2024年問題でトラック輸送がどうなるかわからないので、海運の今の航路を守ることが大切と考えています。

※国際フィーダ航路…国際コンテナ戦略港(阪神港・京浜港)と国内各港を結ぶ航路のこと。

修学旅行の誘致について

【質問】 京の修学旅行・教育旅行府内誘致事業が提案されている。修学旅行といえば京都市内だが、北部地域にも修学旅行生の学びに適した場所は多くある。北部への修学旅行誘致についてどのように考えているのか。

【答弁】 京都市内の歴史や文化に加えて、北部地域で環境学習体験といったものを組み合わせることで修学旅行の魅力が向上します。そのため、毎年教育プログラムを一冊のパンフレットに集約し案内しています。その中身は舞鶴での平和学習の取組、あるいはジオパークや琴引浜での環境学習、それから漁師体験などバスでのアクセスや時間など、宿泊・日帰りも含めて可能なのでPRしていますが、実際には現状で全体の2%程度となっています。

池田まさよし事務所 ご案内

お気軽にお立ち寄り下さい

西事務所(舞鶴市南田辺71番地1)

オープン時間 10:00~16:00 TEL(0773)77-1722 FAX(0773)77-1723

東事務所(舞鶴市森本町29-5)

オープン時間 10:00~16:00 TEL(0773)77-5670 FAX(0773)77-5671

✉ m.ikedai@kyotofugikai.jp



市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。



京都府のホームページもご覧いただけます